

研修受講者氏名	
本票ページ数	/

実施手順	評価項目	評価				
		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
	回数					
	月日	/	/	/	/	/
	時間					
STEP4： 準備	訪問時、第一回目の流水と石けんによる手洗いを済ませておく。					
	医師・訪問看護の指示を確認する。					
	利用者本人あるいは家族に体調を聞く。					
STEP5： 実施	利用者本人から吸引の依頼を受ける。あるいは、利用者の意思を確認する。					
	吸引の環境、利用者の姿勢を整える。					
	口の周囲、口腔内を観察する。					
	流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。					
	必要に応じ、きれいな使い捨て手袋をする。場合によってはセッソを持つ。					
	吸引カテーテルを不潔にならないように取り出す。					
	吸引カテーテルを吸引器に連結した接続管につなげる。					
	(薬液浸漬法の場合) 吸引器のスイッチを入れ、水を吸って吸引カテーテルの内腔を洗い流すとともに吸引カテーテルの風筒を洗う。					
	決められた吸引圧になっていることを確認する。					
	吸引カテーテルの先端の水をよく切る。					
	「吸引しますよ～」と声をかける。					
	吸引カテーテルを口腔内に入れ、両頬の内側、舌の上下周囲を吸引する。					
	一回で吸引しきれなかった場合は、吸引カテーテルの外側をアルコール綿で拭き取った後、洗浄水を吸って内腔を洗い流してから、再度吸引する。					
	(薬液浸漬法の場合) 使用済み吸引カテーテルは外側をアルコール綿で拭き取った後、水を吸って内腔を洗い流してから、保存容器の消毒液を吸引カテーテル内に吸引する。					
	吸引器のスイッチを切る。					
	吸引カテーテルを接続管からはずし、破棄する。 (薬液浸漬法の場合) 消毒液の入った保存容器におく。					
	手袋をはずす(手袋着用の場合)またはセッソをもとに戻し、手洗いをする。					
利用者に吸引が終わったことを告げ、確認できる場合、たんがとれたかを確認する。						
利用者の顔色、呼吸状態等を観察する。						
体位を整える						
吸引した物の量、性状等について、ふり返り確認する。						
STEP6： 結果確認報告	吸引びんの廃液量が70～80%になる前に廃液を捨てる。					
	洗浄用の水や保存容器の消毒液の残りが少なければ取り換える。					
STEP7： 記録、報告	評価票に記録する。ヒヤリハットがあれば報告する。					
アの個数 計						

\*自由記載欄

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	